



岩内高校でワークショップを開催しました

・2023年10月3日、北海道岩内高等学校にて、地球温暖化やカーボンニュートラルへの理解を促進し、そして将来の岩内町ひいては世界がどうあるべきかについて共に考えるワークショップ「岩内町カーボンニュートラル×まちづくりセミナー」を開催しました。



- ・当日は2年生66名を対象に、カーボンニュートラルや再生可能エネルギーに関する説明を行ったあと、12のグループに分かれてもらい、岩内町の今後の目指すべき姿についての意見交換を行っていただきました。
- ・グループによって「インフラ」「観光」「産業」「福祉・教育」と視点を分け、4つの課題に取り組み、以下のような回答、意見が得られました。(一部抜粋)

Q1 日本における今後のエネルギーミックスや温室効果ガスの排出はどうあるべきか。

- ・発電の割合のうち半数以上を再エネに置き換える。
- ・温室効果ガス排出量を削減しつつ、吸収量の増加に努める。
- ・火力発電へ依存しない。
- ・エネルギーについての教育の場を増やす。

Q2 将来における岩内町の理想像はどういったものか。

- ・再エネ電力を利用したEVバスが走る街。
- ・若者向けの施設を増やし、若者も暮らしやすい街。
- ・活気盛んで観光客が訪れる街。
- ・医療機関や高齢者福祉、子育て環境などが充実し、健康意識が高い街。

Q3 皆さんが思う岩内町の魅力や問題点は何か。

魅力

- ・温泉がある。
- ・自然に恵まれている。



問題点

- ・人口が少ない。
- ・働き口が少ない。
- ・山、海、温泉を十分に活用していない。

Q4 岩内町での脱炭素に向けて、どういった取り組みに力を入れていくべきか。

- ・家庭や事業所、公共施設で太陽光発電を行う。
- ・地域循環バスをEV化する
- ・波力発電を取り入れてはどうか。
- ・発電所をめぐり、温泉に宿泊してもらうツアーを開催する。



ゼロカーボンビジョンの策定を進めています

- ・ 町では、2050年ゼロカーボンシティ実現のため、取り組むべき施策の方針や町の将来像を示す構想（ビジョン）の策定に向けて、「岩内町ゼロカーボンビジョン策定委員会」を立ち上げて検討を行っています。

『脱炭素先進地』を視察してきました



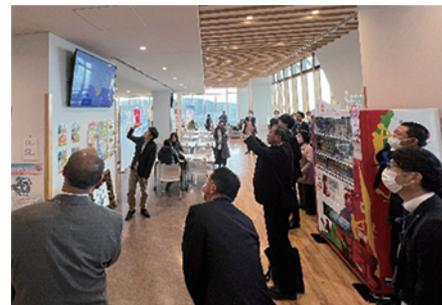
- ・ 2023年10月12日、岩内町ゼロカーボンビジョン策定委員会のメンバーにて脱炭素の先進地である石狩市の厚田マイクログリッドシステムや、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の先進事例であるダイダン（株）北海道支店の社屋を視察してきました。

①石狩市

- ・ 石狩市の環境施策についての説明を受け、厚田地区にあるマイクログリッドシステムや、道の駅に設置されている発電状況などを「見える化」したデジタルサイネージを見学してきました。



マイクログリッドシステム見学の様子



デジタルサイネージ見学の様子

②ダイダン（株）北海道支社

- ・ ダイダン（株）北海道支社は寒冷地での快適環境と省エネ（ZEB）を実現し、災害対策を備えた次世代建物です。
- ・ 屋上に設置されている太陽光発電設備やコージェネレーションシステム、地中熱ヒートポンプなどを見学してきました。



屋上見学の様子



地中熱ヒートポンプ見学の様子

- ・ 各視察先でお話を伺い、施設の見学をただけではなく、活発な質疑応答も行われ、とても有意義な視察となりました。今回の視察は、岩内町におけるゼロカーボンに向けた検討を推進する上での参考に致します。